

静岡県漁業協同組合連合会

1006 静岡市追手町 9-18

14.8.16 ☎ 054-254-6011

編集・発行 = 指導部漁政課

1. 御前崎沖貨物船衝突事故 沈没船より燃料油流出

御前崎沖において、去る8月8日(木)夜、貨物船第二広洋丸(462トン)と韓国船籍の貨物船サントラスト号(2,747トン)が衝突、沈没したサントラスト号から大量の燃料油(C重油)が流出したため、9日(金)朝、本会は清水海上保安部からの情報を受け駿河湾内の全漁協にFAX及び電話で連絡し注意を喚起しました。

翌、10日(土)朝、本会は清水海上保安部から流出した重油の量が多く効率的に処理するための油処理剤使用の了解を求められたため、駿河湾内漁協に連絡し了解を取り付け清水海上保安部に連絡しました。

11日(日)には、流出した油が湾内を西伊豆から駿河湾奥部の大瀬崎、更には田子の浦沖へと漂流しているとの情報を得たため、サントラスト号船主の協力要請を確認し、漁場を守るため防除資材の調達、必要な場所への運搬等対策に取り組むとともに、松崎町、田子、戸田漁協からは4隻の漁船が出動し監視活動を行いました。

12日(月)には、沼津我入道、静浦、内浦、戸田、土肥町、安良里及び田子の浦の各漁港から出港した漁船42隻、260人余の漁業者の精力的な活動によって防除作業が行われ直接的な漁業被害を免れ事無きを得ました。

また、13日(火)にも同様に21隻、約130人が防除作業を行いました。流出した油は風化しボール状となり田子の浦港近隣の海岸及び沼津地域の海水浴場に残念ながら漂着したため、漁協職員及び関係者による懸命な回収作業が行われました。

14日(水)には、清水海上保安部からの情報によれば、12日以来事故現場の沈没船で行われていた油の流出防止措置が完了し、ようやく油の流出が断続的な少量なものになったとのことでした。

しかし、本会としては沈没船に油がまだ残っているのであれば、早急に万全な流出防止対策を取られるよう強く要請したところです。

また、本会では油の防除活動に出動された船舶、人数、使用した防除資材などを調査していますのでご協力をお願いいたします。

2. 遠洋まぐろ延縄漁業団体会議開催される

責任あるまぐろ漁業推進機構(OPRT)に加盟する日本(日かつ連、遠かつ協、近かつ協)、台湾、韓国、インドネシア、フィリピンの世界の8割以上のシェアを持つ主要5ヵ国、7生産者団体代表ら20人が参加し「遠洋まぐろ延縄漁業団体会議」が8月1日～2日東京で開催されました。

会議は、IUU(違法、無報告、無規制)のマグロ漁船の廃絶を中心に議論が行われ、国際的な資源管理を遵守するホワイトリスト掲載船以外からの漁獲物輸入を認めない措置を日本政府などに求める決議を採択し、同日、木下水産庁長官及びOPRT佐野宏哉会長に決議の実現を要請しました。

会議では、世界の漁獲努力量を増やさず、中古漁船の有効活用を図るためホワイトリスト掲載船の間で中古漁船の売買ができる体制を整備することを合意し、また魚価対策においては、現在の魚価安の要因が単一市場である日本の需給ギャップ拡大によるものとの認識で一致し、今後日本以外の市場開拓や日本市場における販売多様化に取り組むことにしました。

また、今回の決議については中国にも理解と協力を求めて行く事にしています。

3. 平成14年度サンマ漁海況予報発表される

水産総合研究センター東北区水産研究所は今期の北西太平洋におけるサンマ漁の漁海況予報をまとめました。

この予報によると、太平洋沿岸各地の水研・水試が6月から7月にかけて実施した調査で、昨年の調査とほぼ同数のサンマ個体を捕獲、大型魚の比率は昨年より高かったことから今漁期に来遊するサンマは「尾数は昨年並み、重量では昨年を上回る」ものと予想されています。

ただ、調査で沿岸を北上した群れが少なかったことや7月8日から始まった小型船の水揚げが低調で小型魚の割合が多いことなどから、「漁期当初は中・小型魚主体で低調になる」と予想していますが、その後は沖合魚群の参入に伴い「大型魚が増え、漁も好転する」ものとされています。

漁場形成については、道東沖の親潮域の水温が昨年より低いこと等から、初期は「道東沖から色丹島沖に形成される」見通しとしていますが、道東沖の親潮第1分枝の波及は強く沖の水温が低いことや、魚群の南下を阻む暖水塊や津軽暖流の強い張り出しがないことから、三陸沖への魚群の南下は例年より早い9月中旬と考えられています。

なお、今年漁期当初は、中、小型魚が主体となるが沖合からの魚群参入に伴い大型魚が主体となるものの、昨年に比べ魚体モードは1cm小さく、肥満度も低い傾向にあるとされています。

また、魚価については国内の冷凍サンマの在庫は少なく生産者にとっておおいに期待できる状況とのことでした。

4. 諸会議・日程(8月19日(月)～9月2日(月))

8月19日(月)～23日(金) 県漁連指導部 = 漁協巡回 (全県)

8月24日(土) 浜名湖養魚漁協 = ウナギ供養際 (弁天島)

8月27日(火) 県漁業信用基金協会 = 理事会 (県水産会館)

- 既報分省略 -